

令和元年度 基本事業評価シート（平成30年度実績評価）

政策 03 ころろ豊かに暮らせるまち

施策 03 人権の尊重

基本事業 03 虐待などの人権問題の解消

主管課： 児童福祉課

関係課： 介護福祉課、市民協働推進課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか） 子ども，高齢者，配偶者	意図（どのような状態にしたいのか） 子ども，高齢者，障がい者，配偶者間の人権が尊重され，虐待などの人権問題が解消されるように努めます。
--	---

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

児童虐待件数（年間）		(件) 児童福祉課			
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針	下がると良い	（状況）平成29年度と同様に平成30年度は0件となり目標値を達成しています。 （原因）虐待による入所措置がなかった要因としては、子どもを親から離さなければならない事由がなく、自宅にて支援できると判断したためです。			
対前年度	維持				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

児童虐待相談件数（年間）		（件）		児童福祉課	
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
36.00	41.00	47.00	30.00	30.00	30.00
向上指針	下がると良い	（状況）基準値からは11件、平成29年度からは6件増加しています。 （原因）主な児童虐待の原因としては、子どもの面前で夫婦げんかを行うことで子どもが不安な気持ちとなる「心理的虐待」が37件と最も多く、平成28年度の「心理的虐待」件数と比べて13件増加しています。また、虐待に対する通報制度が世間に浸透し、近隣住民や被害を受けた子ども自身が警察や児童相談所、市へ通報することも多くなったことで数値が高くなったと考えられます。			
対前年度	低下				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

高齢者虐待件数（年間）		(件)		介護福祉課	
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
4.00	19.00	19.00	0.00	0.00	0.00
向上指針	下がると良い	（状況）基準値からは15件増加し、平成29年度と同数となっています。 （原因）高齢者虐待については、地域、ケアマネージャー、介護サービス事業所との連携を密にしており、虐待及び虐待のおそれを含めて、通報等により情報が多く寄せられるようになったことが原因と考えられます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

高齢者虐待相談件数（年間）		（件） 介護福祉課			
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
7.00	19.00	19.00	0.00	0.00	5.00
向上指針	下がると良い	（状況）基準値からは12件増加し、平成29年度と同数となっています。 （原因）高齢者虐待相談については、地域、ケアマネージャー、介護サービス事業所との連携による相談体制が構築されたことにより相談できる環境が整っていることが原因と考えられます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

DV相談件数（年間）		(件) 市民協働推進課			
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
14.00	13.00	12.00	12.00	12.00	12.00
向上指針	下がると良い	（状況）基準値からは2件、平成29年度からは1件減少しています。 （原因）DV相談を受ける際は、危険性が高く被害者をすぐに保護する場合と長期間継続する相談があります。毎年、12件前後の相談を受けている理由としては、同一者から複数回相談を受けるケースやDVを受けた際の相談機関先の周知が図られているためと考えます。			
対前年度	向上				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題とする				

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H28年度 決 算	H29年度 決 算	H30年度 決 算	R01年度 予 算	R02年度 見 込
事業費合計	6,747	4,905	6,818	9,876	9,876
人件費	19,331	19,778	26,424	0	0
トータルコスト	26,078	24,683	33,242	9,876	9,876

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

児童虐待や高齢者虐待、障がい者虐待への通報制度については、市広報やホームページにより周知するとともに、民生委員児童委員への周知も行っております。また、配偶者間暴力（DV）の撲滅のための啓発も引き続き取り組みます。 なお、虐待通報や配偶者間暴力の相談を受けることで支援に結びつく機会となりますが、案件が減少することが第一であることから「課題あり」としています。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]